

被ばく低減対策好事例集

場所		分類		番号	30-04												
原子炉建屋内 (RB)	RB	3	1 時間														
タービン建屋内 (TB)			2 距離														
R ZONE (R)			③ 遮へい														
Y ZONE (Y)			4 線源の除去														
G ZONE (G)			5 遠隔、ロボット化														
その他 ()			6 汚染拡大防止														
			Z	7 その他													
内容		ロボットを使用した原子炉建屋5FL(オペフロ) 調査															
作業場所		2号機 原子炉建屋5FL (オペフロ)															
概略		原子炉建屋5FL (オペフロ) 内の線量率・汚染密度の測定等で使用したロボットの点検場所の鉛遮へい															
評価 (定性・定量)	効果		対策前	対策後													
		被ばく線量(mSv)	55.01	34.38													
		人工数(人日)	--	--													
事例詳細																	
<p>対策前 ロボットメンテナンスエリアが高線量率であった。</p> <p>対策内容 ロボットメンテナンスエリアに鉛遮へいを設置した。</p>																	
<p>×: 空間線量当量率</p> <p>幾何平均 0.24 → 幾何平均 0.15</p> <p>鉛板: 4重 (厚さ12mm)</p>																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>鉛遮へい設置の効果</th> <th>遮へいなし</th> <th>遮へいあり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>メンテナンスエリアの線量当量率 幾何平均 (mSv/h)</td> <td>0.24</td> <td>0.15</td> </tr> <tr> <td>6/23 ~ 7/20の被ばく量 (メンテナンスエリアでの作業) (人・mSv)</td> <td>55.01</td> <td>34.38</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>20.63 人・mSv 被ばく低減</td> </tr> </tbody> </table>						鉛遮へい設置の効果	遮へいなし	遮へいあり	メンテナンスエリアの線量当量率 幾何平均 (mSv/h)	0.24	0.15	6/23 ~ 7/20の被ばく量 (メンテナンスエリアでの作業) (人・mSv)	55.01	34.38			20.63 人・mSv 被ばく低減
鉛遮へい設置の効果	遮へいなし	遮へいあり															
メンテナンスエリアの線量当量率 幾何平均 (mSv/h)	0.24	0.15															
6/23 ~ 7/20の被ばく量 (メンテナンスエリアでの作業) (人・mSv)	55.01	34.38															
		20.63 人・mSv 被ばく低減															